



「地域を支える新しい協働」を考えるシンポジウムが開催されました

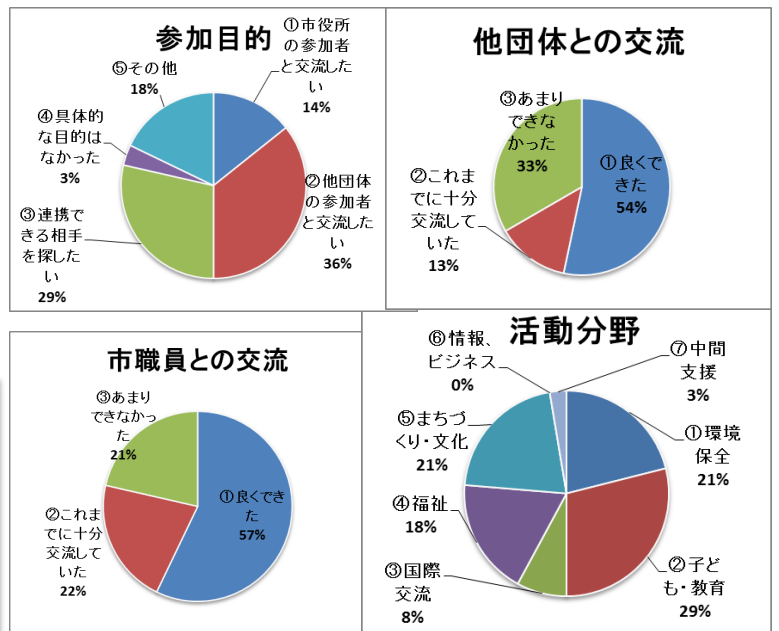
当協議会では本年 2 月、八王子自治研究センターと共同し、会員団体を対象として「みんなで担う公共と協働のまち」の担い手と言える市民活動団体の現時点における活動状況や街づくりに向けた意識、要望を把握するためにアンケート調査を実施しました。その報告を兼ねて 10 月 11 日に労政会館においてシンポジウムを開催しました。



アンケートの結果八王子市内の市民活動団体の活動は多岐にわたり、行政との連携の必要性を感じている団体が多いことがわかりました。また、多くの団体が活動資源の課題を抱えていることもわかりました。詳しい結果については「アンケートのまとめ」冊子を作成しました。協議会または八王子自治研究センターにお問い合わせください。

このアンケートで行政との連携を深めたいとの意見をふまえて、会員団体や市民団体、市民の皆様、それに行政関係の方々にも加わっていただき、自由な雰囲気の中で意見を交換できるシンポジウムを開催しました。パネルディスカッションに引き続き福祉/環境/子ども/文化・街づくりの 4 つに分かれ、分科会形式で行政主査メンバーとの率直な意見交換を行いました。

活発な討議が続き、時間が足りない状態でした。当日のアンケートでも概ね好評をいただきました。このシンポジウムへの参加の目的としては、他の団体との交流を図りたいや連携相手を探したいとの回答が多く、多くの団体が協働を望んでいることがわかりました。これを契機としてみんなで担う新しい協働が生まれることを期待しています。



協働への取組み ～パネルディスカッションより～

八王子市民活動協議会理事長
石井 利一

行政と市民活動団体の協働を考えると、心得ておかなければならないことがあります。それは、それぞれの活動に対する心構えの相違です。行政活動の基本は「公平性の原則」です。市民に対して公平のサービスを提供するという考え方です。町会自治会の活動も「公平性の原則」がベースになっています。一方、ボランティア精神をベースにしているNPO活動は、出来る範囲の活動を精一杯やるというのが基本です。従って、出来る範囲は確りやるが、出来ないところはお断りするという、いわば「非公平性の原則」で動いています。お互いの立場を考慮して最善の方法を見つけていくことが大事です。

右 分科会でも活発な議論がなされ、その後の発表も各グループ熱が入った



皆さんはNPO・市民活動をどう考えている？



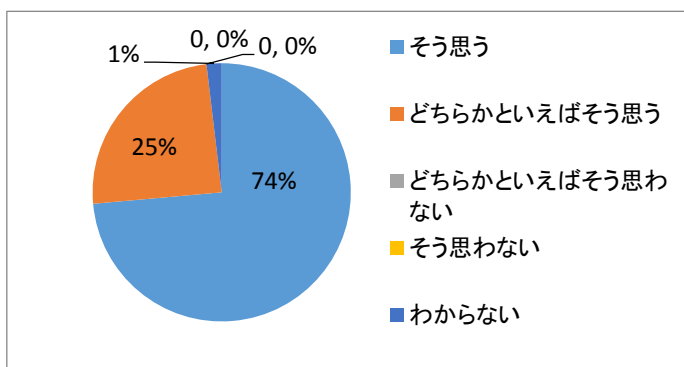
八王子古本祭りに参加 ～NPO意識調査も実施～



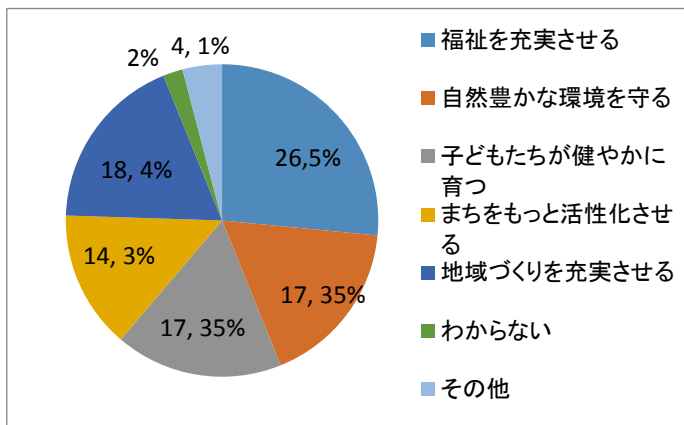
第13回八王子古本祭りが西放射線ユーロードで開催され、協議会は八王子市民活動支援センターと昨年に続き共同出店しました。出店の目的は、古本販売の売り上げ金を災害復興支援金や団体活動支援金等に当てるため、そして協議会や市民活動支援センターの事業の紹介を通して、NPO、市民活動を市民の方々に広く発信し理解を深めていただくことです。

今回は、来場の方々のお休み処としてNPO相談コーナーを、アンケート記入コーナーとして「NPOさぼはちカフェ」を開設し、市民の方々との交流を積極的に行いました。アンケートを通じて市民の方々のNPO・市民活動に関する印象や意識をお聞きすることができました。(58件回答)以下はその抜粋です。

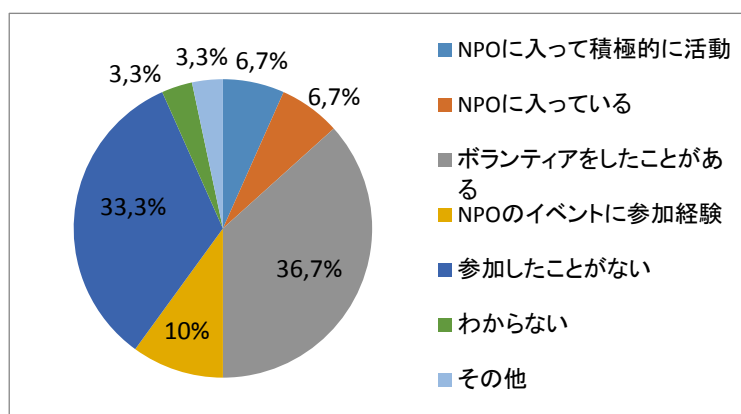
* 社会的課題に市民が取り組むことは大切か



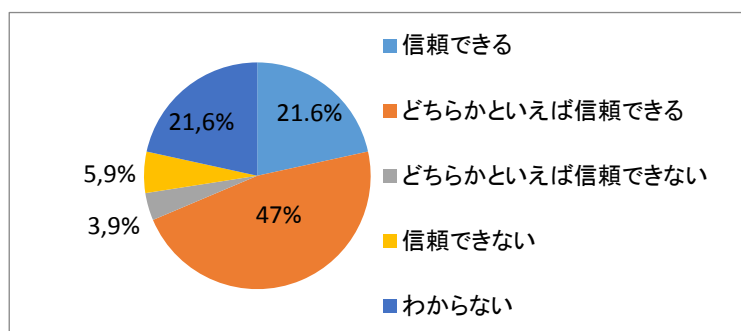
* 八王子に必要なNPO・市民活動は何ですか



* 市民活動やボランティアの経験はありますか



* NPOを信頼できるか



～ 社会的課題に市民が取り組むことは必要～

アンケートの結果をしてみると、概して市民の皆さんは市民協働の大切さを認識していることがわかります。(アンケートでは99%の方が協働の必要性を感じています。)また、協働のパートナーとしてのNPOへの信頼も高いことがわかりました。約7割の方がNPOを信頼できるものとしています。しかし、NPO活動やボランティア活動を積極的にしている方はまだまだ十分な数とは言えず、市民活動の八王子市の拠点である市民活動支援センターを知らないという回

答も少なからずありました。

NPO活動に参加しない理由については、機会がないというのが一番多く、次に時間がないということです。どのような活動が必要かという問いには、福祉、環境、子育て、コミュニティ活性化等多様な分野での活動の必要をあげており、私たちの生活全般において協働の必要性を感じていることがわかります。協議会がボランティア活動等に参加する機会を設ける支援や発信等の役割を更に担っていく必要があると感じました。



はちおうじいちょう祭「わくわく広場」

今年も大盛況！ 31団体参加

11月21日・22日

※綿あめ行列、玉こん完売(協議会)

11月になって天候が優れず、心配の毎日でしたが、21日はほかほか天気。打って変わって22日は寒い曇り。雨は降らずに2日間を無事に終わることができました。完売するお店が続出したので、いつもより多くの方々が「わくわく広場」に足を運んでいただけた様です。

今年は31団体が参加しました。(内5団体が新参加)市民センターの2階の和室の「きらりん☆きっす」(八王子子育て支援団体ネットワーク)をはじめ、河川敷でも子ども向けの体験コーナーが多数出店し、子どもたちの笑顔がいっぱいの『わくわく広場』となりました。ゆっくり食べれるフードコートや介護・福祉器具の展示・試乗や陶器・竹わら工作・バザーなどなど、『わくわく広場』は今年も様々な市民活動団体が工夫を凝らし、協力して盛り上げることができました。

<参加団体一覧>

- *八王子お手玉の会 *小原竹工作 *市民ユニット“りぼん”
- *八王子住まいづくり市民塾 *合唱団ふる里
- *八王子子ども劇場 *カウンセリングスペース まてりあ
- *NPO法人フレンズ・オヴ・アニマルズ
- *ボーイスカウト八王子第2団
- *ボーイスカウト八王子第12団 *HOS326 志民塾3期生
- *中央環境市民会議 ごみ・資源エネルギー部会
- *デイサービス *里親ひろば ほいっぴ
- *著作権推進会議 *きらりん☆きっす
- *東京都南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター
- *八王子市民活動協議会 *吹き矢健康クラブ
- *陶芸サークル木窯火 *NPO Rainbow エンジェル
- *はちおうじ志民塾6期生の会 *工房みどりの風 *夢叶屋
- *八王子サッカー協会 *陶器てらかど *たかぎ
- *城山陶遊くらぶ *わら細工 *リユース食器ひなげし
- *ハニカムステージ

八王子市民活動協議会 政策研究部の活動 ⑫



10月25日(日)から26日(月)、1泊2日で、福島県いわき市を訪問しました。特定非営利活動法人いわきNPOセンター、いわき市社会福祉協議会などを訪問し、東日本大震災の際に津波の被害を受けた地域や仮設住宅の見学と、当時の生々しいお話し、現状、これからの課題、そして、復興に向けての官民を超えたネットワーク等についてお話しを伺いました。

いわきNPOセンターの理事長 照井義勝さんには、14mの津波の被害を受け、100名以上の方が亡くなられた豊間地区を案内していただきました。震災当時の爪後は殆んどなく、新しい防波堤の工事が盛んに行われていました。いわき市には、市内の被災者だけでなく、双葉郡8町村の方たちが原発で約24,000人が避難しており、今も数多くあるそれらの仮設住宅、復興住宅等も見学しました。いわきNPOセンターは、震災が起こった際、民間で救援物資調達配送基地『いわき基地』を設置し、いち早く、避難所や孤立している被災者への対応を始めたという当時のお話しも伺いました。

いわき市社会福祉協議会では、会長 強口暢子さんから「認識が甘かった、対応できなかった」と行政の混乱の中から災害ボランティアセンターを立ち上げた当時のお話しを伺いました。現在、社協では市内の被災者の支援を行っている「復興支援ボランティアセンター」と、避難して来られている双葉郡8町村の方々を支援している「みんぷく」の2つの運営に携わっています。

その他、当市の東京八王子プロバスクラブが図書を寄贈したのが繋がり豊間中学校、若い方たちを中心に復興の先のまちづくりに取り組んでいるNPO法人TATAKIAGE Japanも訪問しました。

当時の慌てふためいた様子、機能しなかった行政の災害対策、そんな中動いたNPOの存在、そしてその経験からできたネットワークの大切さ等々、八王子もこれから来るであろう災害に備えるために、私たちNPOは何ができるのか、参考になるお話しをたくさんお伺いすることができました。

会員情報

エコショップ元気広場からのお知らせ

エコショップ元気広場では、さまざまなサービスを提供しています。お気軽にご相談ください。

- ①レンタルボックス（高40 幅80 奥ゆき40）
ボックスは50個あります。
値段、飾り付けは自由です。
レンタル料 3,000円/月
販売は元気広場が請け負います。
- ②地域お助け隊
犬や猫の世話、片づけ指導、高齢者の見守りなど
お困りごとはなんでもご相談ください。
- ③環境や人にやさしい商品の販売
ゼノア化粧品、石けん類、馬油、へな、温泉水
生活クラブ生協の消費財など
- ④教室開催
頭の体操、中国語、書道、ヘッドマッサージ
- ⑤着物リメイク相談会 1/10（木）14-15時



八王子市片倉町 440-15
お問い合わせ 042-637-2394
<http://genki-hiroba.jimdo.com>

男性合唱団コールプレアデス

練習を見学して見ませんか？
いつでも歓迎です。

会員募集

素晴らしいピアノの伴奏であなたも口ずさみたくなる
雰囲気呑み込まれる事でしょう！

練習場所 八王子市子安市民センター
練習時間 毎週木曜日 18:30~20:30
募集 初心者、経験者 常時、年齢不問
団費 3,000円/月



お問合せ：武田洋一郎（団長）
電話：042-638-8187
<http://www9.plala.or.jp/chorpleiades/>

八王子市民活動協議会平成28年「新春の集い」

新年交流会にご参加ください。
日時 平成28年1月31日（日）午後2時~4時
場所 八王子労政会館 2階ホール
会費 2000円
お問合せ 八王子市民活動協議会 ☎646-1626



めじろむつみクラブ(MMC)

高齢化社会に高齢者が自ら”生き甲斐のある楽しい日常生活”を過ごすための高齢者参加型の生活支援団体です。地域の皆様との交流により高齢者の生活支援、より住み良いまちづくりに関わる事活動をしています。

サービスを受けたい方、活動に参加したい方は会員登録が必要です。

会員募集

- ①有償生活支援
- ②講演会ほか各種イベントの開催
- ③町会とのタイアップ
- ④地域の方との交流

MMCは会員制度によって運営されています。

<会費>

入会金 1,000円
年会費 1,200円賛助会費 5,000円（一口）

八王子市めじろ台2丁目37番地12
お問い合わせ 080-1038-6875
<http://www.hachioji-mmc.com>



みなさんの活動のPRをお手伝いします

協議会からのお知らせ

協議会だよりの4面はみなさんの活動を紹介する紙面です。日常の活動紹介、会員募集などお気軽にお申し付けください。

発行は偶数月の1日に行います。
印刷部数は2,000部で会員、市民センターなど市の施設で配布しています。
団体、個人に関わらずご利用ください。

お問合せ：八王子市民活動協議会
広報担当

電話・FAX：042-646-1626

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/>



市制100周年記念市民提案事業の募集

市制100周年を全市をあげて祝うため、市内の各団体とともに事業を展開していきます。そのため市は「市民提案事業」を募集します。

採用された事業には100万円を上限に補助します。
募集期間 27年12月1日~28年1月29日
お問合せ 市記念事業課（市政100周年記念事業実行委員会）☎620-7348